

# 令和2年度≪自己評価シート≫集計表

## I 保育の計画性

幼保連携型認定こども園 若葉園

内 容	評価			
	1	2	3	4
<b>1、園の教育理念・教育方針の理解</b>				
① 園の教育理念や教育方針を理解し共感している	10	8	2	
② 園の方針、園長の考え方について園長や主幹保育教諭と話し合い保護者に説明できる	5	8	6	
<b>2、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解</b>				
① 幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解し、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思い浮かべることができる	4	10	4	
<b>3、教育及び保育の内容に関する全体的な計画の編成と評価</b>				
① 園の教育及び保育の内容に関する全体的な計画は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領をふまえて園の教育理念・教育方針に従って編成している	5	8	2	
② 1年間の子どもの成長を振り返り、教育及び保育の内容に関する全体的な計画を評価している	4	8	2	
③ 園の教育及び保育の内容に関する全体的な計画は、社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	5	9	1	
<b>4、指導計画の作成</b>				
① 指導計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮して作成している	5	8	1	
② 行事は、幼児の生活上の意義を十分検討した上で、指導計画に組み入れている	4	10		
<b>5、環境の構成</b>				
① 指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている	7	8		
② 楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して環境構成をしている	7	7	1	
③ 幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再構成をしている	4	9	2	
④ 幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている	7	8		
⑤ 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	3	8	3	
<b>6、保育と計画の評価・反省</b>				
① 自分の保育と評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている	4	9	2	
② お互いに保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている	3	6	4	2

<p><b>7、保育の計画性でよく出来ていると思ったこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全、安心して幼児が生活できるよう、環境を整える。</li> <li>・年間指導計画や月案と今のこども達の姿を照らし合わせ、遊びを計画できた。</li> <li>・遊びなどの活動を通して基礎的な体力を養ったり様々な行事を行うための基盤となっている。</li> </ul>
<p><b>8、保育の計画性でこれからの課題と思ったこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止のため異年齢児との交流があまりできなかった。</li> <li>職員同士で話し合い、計画していく必要がある。</li> <li>・予期せぬ問題が起きたときに柔軟に対応できる計画が必要である。</li> </ul>

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない

# 令和2年度《自己評価シート》集計表

## Ⅱ 保育の在り方、幼児への対応

幼保連携型認定こども園 若葉園

内 容		評価			
		1	2	3	4
1、健康と安全への配慮					
①	朝の登園時は特に視診を大切にしておて幼児の体調が悪くないかを確認している	12	5		
②	体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している	13	3		
2、幼児のみとりと理解					
①	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされる様配慮している	8	8	1	
②	一人の幼児をじっくりと見ながら見えない所で活動したり遊んでいる幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することができる	8	9		
③	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる	5	10	1	
3、指導とかかわり					
〔心のよりどころとして〕					
①	幼児一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受入れ認めるようにしている	11	8		
②	幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心掛けている	13	6		
③	幼児の話をよく聞くようにしている	12	7		
④	“一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考え、クラス集団をまとめている	6	8	2	
〔遊び・活動の援助者として〕					
①	幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイデアを提供している	4	11	1	
②	幼児をほめたり、励ましたり、めあてをもたせるような言葉かけをしている	9	7	1	
③	禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている	7	9	1	
〔その他〕					
①	幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている	8	7	2	
②	障がい児が入園した時、個別的対応やクラスの子どもとともに育ち合える保育を積極的に進めるように考えている	4	7	2	
4、保育者同士の協力・連携					
①	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をしている。また、情報を共有している	11	6	1	
②	指導上配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	9	4	5	
③	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫、保育の形態を取り入れている	4	9	3	

### 5、保育の在り方、幼児への対応でよく出来ていると思ったこと

- ・朝の視診をしっかり行い、職員同士で共有できた。
- ・担任だけでなく、園のすべての職員が常に全幼児に対して声掛けをし、園全体でこども達を育てている。

### 6、保育の在り方、幼児への対応でこれからの課題と思ったこと

- ・こどもの話をよく聞くよう心がけ、変化にも気づけるよう注意してきたが、まだ、気づけていないことがある。こどもが気持ちをうまく言葉にできず、伝えられない場面があるので、子どもがうまく伝えられるよう援助したり、伝えやすい雰囲気作りを心がける。

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない

# 《自己評価シート》

## Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適性

幼保連携型認定こども園 若葉園

(保育者：保育教諭と幼稚園教諭と保育士の総称)

内 容		評 価			
		1	2	3	4
1、専門家としての能力・良識・義務					
[専門家としての能力]					
①	保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけている	3	10	3	
②	保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている	7	7	1	
③	保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている	3	12	1	
④	保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	13	3		
[良識とマナー]					
①	幼児や保護者との対応、言葉遣いには、謙虚さ、公平さを欠かないようにしている	12	5		
②	園児や保護者、職員の名前を略さずに正しく呼んでいる	12	5		
③	朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表わしている	13	4		
④	園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない	17	1		
⑤	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気をつけている	16	3		
[義務]					
①	教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している	6	10	1	
②	締切りのある仕事や提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている	12	3	2	
2、組織の一員としての在り方					
①	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる	6	13		
②	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主幹保育教諭に報告、連絡、相談している	15	4		
③	当番や役割による仕事を理解し確実にしている	12	6		
④	上司の指示、命令には責任を持って実行している	15	4		
3、まわりを感じ取れる感性・アンテナ					
①	幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている	5	8	3	
②	社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている	10	8		

### 4、保育者としての資質や能力・良識・適性でよく出来ていると思ったこと

- ・日常の挨拶は、誰に対しても気持ちよくできるよう心がけている。
- ・子ども達と話をするときも、正しいことばを使うよう心がけている。
- ・感謝の気持ちを持ち、お互いに言葉で伝えるようにしている。

### 5、保育者としての資質や能力・良識・適性でこれからの課題と思ったこと

- ・専門知識や技術を身につけようと文献を参考にしたりするが、自分の興味のあることや得意なことに偏りがちであるため、苦手意識を持っていることや、様々な事象に興味関心を持てるよう日頃から意識を高める。

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない

# 令和2年度<自己評価シート>集計表

## IV 保護者への対応・守秘義務

幼保連携型認定こども園 若葉園

内 容	評価			
	1	2	3	4
1、情報の発信と受信				
① 一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している	4	7	3	1
② クラスだよりなどで、保育実践の内容や意図・クラスや子どもの様子を、写真やイラストなどを活用してわかりやすく伝える工夫をしている	5	4	3	1
③ 個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳、電話などを使って伝え合っている	11	4	1	
④ 保育参観や保護者面談を定期的に行い、子どもについて、保育や家庭でのあり方について共通理解を得るように努めている	3	4	6	
⑤ 定期的にアンケート等にて保護者の要望を聞き、子どもにとってよりよい環境づくりに努めている	3	4	5	1
⑥ 保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録している	8	5	1	
⑦ 子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するよう努めている	10	4		
2、協力と支援				
① 保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視したりしないで、園長や主幹保育教諭等に報告や相談をしている	14	2		
② 必要な場合は、自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる	1	5	8	1
3、守秘義務の遵守				
① 職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	17	2		
② 秘密情報（保護者・園児等に関する個人情報、および園の運営上の情報、保育技術・保育計画等の情報）については園長の許可なく使用、開示、漏洩していない	18	1		
③ 秘密情報の記録が破損、改造されないように管理している	15	1		
④ 秘密情報の帰属は園または法人にある事を認識し、書類、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は持ち出し届出許可書にて園長の許可を取っている	14	3		
⑤ 秘密情報の書類、電子データのコピーは園長の承認を受けた物のみ、必要最小限にし、必要なくなった場合は適切に処分している	14	1		
⑥ 秘密情報について新たに知れたことについては、直ちに園長に報告している	14	1	1	
4、対応上のマナー・良識				
① 正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている	8	11		
② 親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない	8	6		
③ 電話では、簡潔に要領よく対話する事を心がけている	8	5		
④ 保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している	8	6		
⑤ 長期の欠席や入院等の場合には、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	7	7		
⑥ 保護者の国籍、思想、宗教により、また、子どもの性差、障害、個性差によって、区別、差別していない	16	2		
5、クレームへの対処の仕方				
① 保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長及び主幹保育教諭に連絡、報告、相談している	14	4		

<p>6、保護者への対応でよく出来ていると思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園での子どもの様子を連絡帳やお便り、朝夕の登校園時に保護者へ伝えている。</li> <li>・保護者が不安に思われていることや思いを受け止め、保護者の気持ちに配慮しながら子育てのアドバイスを伝えたりしている。</li> </ul>
<p>7、保護者への対応でこれからの課題と思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止のため、参観日が中止になったり、保護者会が中止になり、保護者とのコミュニケーションの機会が減少していることへの対応。</li> <li>・職員と情報共有し、保護者へ園の行事等、情報を伝えられるようにしているつもりだが、徹底されていないので、職員の情報共有の意識を高める。</li> </ul>

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない

# 令和2年度《自己評価シート》集計表

## V 地域の自然や社会とのかかわり

幼保連携型認定こども園 若葉園

内 容	評価			
	1	2	3	4
1、地域の自然・人々とのかかわり				
① 地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	15	3	1	
② 地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している	3	4	4	1
③ 子どもの医療や保健に関する問題および地域の住民から受けた子育て相談の内容について、相談および連絡先を把握している	1	6	4	1
④ 実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	7	6	1	1
⑤ 中高生の保育体験、ボランティアを受け入れるときは、その目的や意義を理解・確認している	8	5	1	1
2、小学校との連携				
① 園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している	8	3	1	
② 小学校の教育内容について理解するよう努めている	6	2	5	
③ 小学生が遊びにくることの出来る場（行事等を含む）を設けている	5	3	4	1
④ 卒業した子どもの情報を得るよう努めている	3	5	2	1
⑤ 小学校が、園での子どもの育ち等について、どのような情報を必要としているか理解するよう努めている	5	4	6	
3、地域の特徴を生かした保育の展開				
① 近隣の高校生と芋の苗植えや芋掘り、クッキングなどで交流し、地域の人と関わる保育を実践している	3	5	4	2
② 高齢者との交流のために、デイサービス交流・行事への参加など積極的に行っている	2	3	3	5

### 4、地域の自然や社会とのかかわりでよく出来ていると思ったこと

- ・小学校と連携し、意見交換、情報共有をしている。
- ・アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの策定を進めている。

### 5、地域の自然や社会とのかかわりでこれからの課題と思ったこと

- ・近隣の高校生との交流や高齢者施設への慰問など、新型コロナウイルス感染拡大のため、なかなか交流ができていない。

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない

# 令和2年度《自己評価シート》集計表

## VI 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

幼保連携型認定こども園 若葉園

内 容		評価			
		1	2	3	4
1、研修・研究への意欲・態度					
①	研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている	3	7	3	2
②	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育のあり方や悩みについて他保育者や主幹保育教諭、園長と話し合っている	4	6	3	
2、遊具・教材に関する専門性の向上					
①	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている	8	8		
②	園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	9	8		
3、園内の環境に関する専門性の向上					
①	園舎の構造（平屋、二階建て）や保育室・遊戯室の位置・大きさがどのような教育的な意味をもつか理解している	2	9	6	
②	園庭や田畑、砂場、かくれ場所などの位置、広さなどがどのような教育的な意味をもつか理解し、保育に生かしている	4	5	7	
4、今日的課題に関する専門性の向上					
①	子どもを取り巻くさまざまな状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味・関心をもっている	6	8	2	
②	アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる問題について興味・関心をもっている	12	5	1	
③	こども園小学校連携の意義やあり方について興味・関心をもっている	9	6	2	
④	こどもたちの安心・安全に関する危機管理について興味・関心をもっている	12	6		
5、自らを高めるための学習					
①	保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある	5	7	5	

### 6、研修と研究でよく出来ていると思ったこと

- ・研修会へ行った際には、学んだことを職員間で共有する。
- ・研修会で学んだことを実践に取り入れる努力をする。

### 7、研修と研究でこれからの課題と思ったこと

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、研修会へ直接参加する機会が少なくなっている。オンライン研修などを活用していく必要がある。

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない

# 令和2年度<自己評価シート>集計表

## VII 保育の在り方、3歳未満児への対応

幼保連携型認定こども園 若葉園

内 容		評価			
		1	2	3	4
<b>1、健康と安全への配慮</b>					
①	朝の登園時は家庭からの連絡をもとに視診・触診をして、乳幼児の健康状態を確かめている	12	2		
②	体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温をするなど、適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している	12	2		
③	保護者から健康状態などの申し出を受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性痙攣、脱臼癖などの既往症について把握している	11	2	1	
④	体重・身長などの測定を定期的に行い家庭に知らせるとともに、バランスの取れた発育が促されるように配慮している	8	6		
⑤	家庭と連携をとりながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に慣れ、食への意欲を育てている	9	4		
⑥	睡眠が十分とれるような静かな環境を整え、午睡の状態（呼吸・顔色・嘔吐・汗）、およびSIDS（乳幼児突然死症候群）のチェックを記録している	12	2		
⑦	一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、オムツ交換をしたり、トイレに促している	11	1	1	
<b>2、乳幼児のみとりと理解</b>					
①	乳幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察して受け止め、信頼関係を築いている	10	4	1	
②	一人ひとりの乳幼児の発達課題について見通しをもって保育している	5	7	1	
<b>3、指導と援助</b>					
[心のよりどころとして]					
①	落ち着いた雰囲気の中で抱いたり語りかけたりして、乳幼児が人との関わりの楽しさや心地よさを味わえるようにしている	10	4		
②	泣いたりぐずったりのサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応をしている	7	7		
[遊び・活動の援助者として]					
①	乳幼児の心身の発達及び生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育をしている	4	8	2	
②	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとり、安心感と自己肯定感がもてるような言葉がけをしている。	10	6		
③	禁止語を不必要に用いないようにしている	8	5	2	
[その他]					
①	乳幼児期は身体的条件や生育環境などの違いにより、一人ひとり心身の発達に個人差が大きいことを理解し関わっている	11	4		
<b>4、保育者同士の協力・連携</b>					
①	保育者全員が情報を共有し、クラスに関係なく、その場にいる保育者が適切な言葉かけや対応をしている	12	3	1	
②	指導上配慮を必要とする乳幼児については、園全体で話し合い共通理解をもって対応するようにしている	12	2	2	
③	他クラスや異年齢児との触れ合う機会がもてるようにさまざまな工夫、保育の形態に配慮している	6	6	2	

<p>5、保育の在り方、3歳未満児への対応でよく出来ていると思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもが安心して過ごせるよう一人一人に呼応した言葉がけや援助を心がけている。</li> <li>・個々の健康状態を常にチェックし、体調の変化には十分に気をつけるようにしている。</li> </ul>
<p>6、保育の在り方、3歳未満児への対応でこれからの課題と思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に、3歳未満児は、複数担任で保育するので、日々、子どもの姿の変化を見逃さず、職員同士で情報を共有していく。</li> </ul>

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない

# 令和2年度《自己評価シート》集計表

## VIII 地域における子育て支援

幼保連携型認定こども園 若葉園

内 容		評価			
		1	2	3	4
1、自園の子育て支援事業の理解（全職員）					
①	地域開放(未就園児ふれあいデー・行事など) について職員間で共通理解の上取り組んでいる	5	10	2	
②	自園の子育て支援事業について理解し、利用者にパンフレットやおたよりでわかりやすく説明できる	3	9	5	
③	親しみやすい雰囲気心を心がけ、利用者に積極的に声をかけている	7	7	1	
2、環境設定(子育て支援)					
①	子どもが自分で遊びを考え出して主体性を発揮できる環境を作り、子どもの支援ができる場を作っている	2	7	3	
②	講座等で子育ての学習の機会を設けて、親の支援ができる場を作っている		1	5	4
③	利用者同士（親同士、子ども同士）の関係が作りやすいよう配慮して、遊びや場の設定をしている	2	4	4	1
3、支援の姿勢(子育て支援)					
①	どの利用者にも公平に接している	13	2		
②	利用者同士（親同士、子ども同士）の仲間作りを促し、場の全体に気を配っている	4	4	2	
③	価値観、経験、力量などの利用者の多様性を受け入れ、それに合わせた対応をしている	2	8	1	
④	利用者が良好な親子関係を築くことができるように、肯定的に働きかけている	3	7	1	
4、育児相談(子育て支援)					
①	課題がある親子に気づき、利用者の気軽な相談を大切に受け止めている	4	5	2	
②	専門的な言葉を極力使わずに、日常的な言葉でわかりやすく伝えている	5	6		
③	保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報について説明できる	1	7	2	1
④	対応が難しいケースの場合に連携すべき専門機関を知っている		7	4	
5、支援の評価・反省(子育て支援)					
①	魅力的な活動、居心地の良い場を維持するために、現状の課題や今後の運営について話し合っている	1	5	4	1
②	地域の子育て支援ニーズを把握し、地域に自園の子育て支援事業を紹介している	1	3	8	
③	わくわくひろば等の業務が円滑に進むよう、協力し合っている	5	7		
6、子育て支援でよく出来ていると思ったこと		<p>・新型コロナウイルス感染拡大前は、わくわくひろば等で未就園児の子育て支援を職員で協力し、取り組んでいた。</p>			
7、子育て支援でこれからの課題と思ったこと		<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、子育て支援の方法を考えていかなければならない。</p>			

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない